

ま ち の 鼓 動

8/9・10 まちのあそびフェス in三の丸

三の丸会館の体育館で開催されたこのイベントは、近鉄郡山駅前官民複合施設内に計画中的子育て世代活動支援センターを整備するにあたり、設置する遊具や運営方法等を検討するための実証実験として行われたものです。

会場内には、子どもより大きいサイズのトントン相撲ができるコーナー、カラフルで思わず遊んでみたくなる遊具コーナーなどが設けられ、来場されたみなさんの歓声や弾ける笑顔でいっぱいになりました。



8/20 第7回大和郡山市中学生みらい議会

中学生が行政やまちづくりを自発的に考える機会として「中学生みらい議会」が開催され、市内5中学校から各2人、合計10人の生徒が参加しました。

生徒たちは、防災無線や児童館についてなど、普段自分たちが関心を持っていることに対し、質問や提案を行い、上田市長、松原教育長が答弁を行いました。

他市町村の事例を踏まえた提案もあるなど、生徒たちが自信を持って堂々と話す姿からは、自分ごとで物事を考え、向き合う姿勢が感じ取られました。



8/22 秀長さん入門講座 (夏休み特別編)

今回の「秀長さん入門講座」は、小・中学生を対象に開催。

まずは、多聞櫓と追手門の見学で、お城の防衛の仕組みについて説明を受けました。お城好きの参加者が多く、熱心に耳を傾けながら、元気いっぱい感想を話してくれました。

続いて城址会館で、郡山城のジオラマ作りに挑戦。作るの、見てきたばかりの櫓や門の周辺です。想像以上のパーツの小ささに、驚きの声が上がりましたが、最後は全員、完成させることができました。



第31回 全国金魚すくい選手権大会

今年も夏の風物詩である全国金魚すくい選手権大会が開催され、金魚スクエアには、各部門に参加する選手たちのべ約1,300人ほどが集まり、熱戦が繰り広げられました。



1分間のボーイ選りでは、選手たちは何枚もあるボーイを見比べたり、透かししたり。自分の思うベストなボーイを探す様子からは1匹でも多くすくおうという気持ちが感じられました。



3分間の競技中は水槽を覗き込み次から次へと金魚をすくう一方で、競技終了後には笑顔が見られ、予選から決勝まで選手たちが真剣に楽しく金魚をすくう姿が印象的でした。



また、今年は豊臣秀吉・秀長兄弟にちなんで、2人1組で参加する秀長さん杯も開催されました。優勝チームの匹数は100匹を超え、2人の仲の良さ、息ぴったりな様子が存分に感じられる結果となりました。

8/25 思い出に残る夏祭り2026

会場の外堀緑地には、市内の飲食店が集まるマルシェや縁日、バルーンアート、のど自慢など子どもたちが楽しめる仕掛けが満載。

恒例の水遊びでは、水鉄砲を持って駆け回ったり、プールに入ってはしゃいだり、ここの暑さの中でも元気に遊ぶ子どもたちが活気に満ち溢れていました。

片桐VBC

第46回全日本バレーボール小学生大会準優勝に伴う市長表敬訪問

市内を拠点に活動しているバレーボールチーム、片桐VBC男子チームが、全日本バレーボール小学生大会で準優勝し、市長を表敬訪問しました。

監督の河合 孝信 さんは「7年ぶりに決勝へ進むことができた。悔しい気持ちもあるが、選手たちは本当に頑張って銀メダルを獲ってくれた。」と話しました。

また、選手たちも「最後までチームみんなでプレーできたことが最高の思い出。」「次は金メダルを持って帰りたい。」と大会を終った感想と次年度に向けての抱負を語りました。

